

輸出事業計画

※申請者名：宮城県JA農産物輸出促進協議会、品目：さつまいも

1. 輸出における現状と課題

- 【現状】
- 令和 4 年、「さつまいも」生産拡大に向け、【宮城県さつまいも作付け・出荷検討会】を組織し、さつまいもの生産拡大に向け本格的に取り組みを開始。令和 6 年 8 月「さつまいも」の輸出拡大を目的とし、宮城県JA農産物輸出促進協議会を設立した。東日本大震災の復興農地を活用し、「さつまいも」の生産を開始、以降、生産拡大を進めた結果、新たな産地（2 JA）の増加に伴う課題を共有し、解決に取り組むことで、生産・販売の安定化に取り組んでいる。
- 【課題】（各国共通）
- （生産）

1 輸出相手先国ニーズに即した生産拡大対応

2 国内での残留農薬検査実施による履歴の検証と、データ蓄積による防除暦作成

3 収穫・出荷作業時の選別基準（スレ果・傷果等）の設定と輸出専用選別基準の作成

（流通）

1 モーダルシフト（仙台港）を活用した輸出への対応

2 長時間輸送時に発生する輸送ロスを防ぐための包装資材（DB）開発と輸送試験実施

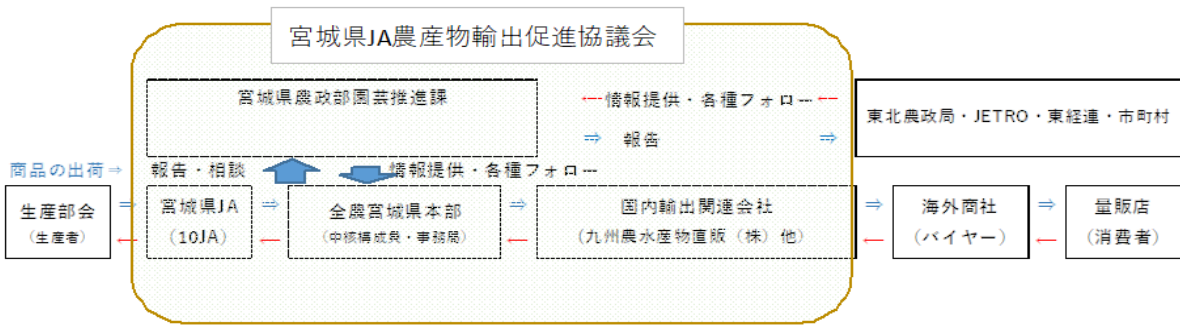
（販売）

1 輸出先国においては、宮城県産さつまいもは未だ認知度が低い

2. 輸出事業計画の取組内容

- （生産）
- 1 輸出数量・要望サイズ・品種等の情報を、販売先・産地と共有した生産誘導。
- 2 残留農薬検査を行い、相手先国基準への対応、データ蓄積を行い、JA・生産者との情報共有を進める。
- 3 国内流通品とは別に輸出専用選別基準を作成する。選別目線統一による、品質格差是正。
- （流通）
- 1 地元仙台港を活用した輸送によるコスト削減と、輸送時発生するロスの確認を進め、トータルコストとロス率の削減。
- 2 DB の潰れによる商品ロス発生を防ぐ及び、輸送効率UPのためのDB開発（T 1 1 パレットサイズ化と、DB強度強化）
- （販売）
- 1 輸出相手先国に出向き販促活動実施及びSNS・販促資材を活用したによる宮城県産さつまいもの認知度向上。

3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制



4. 輸出目標額

(輸出品目：さつまいも)

		現状 (令和 5 年度)	目標年 (令和 8 年度)	備考
宮城県内全域	輸出額 (千円)	8,120	16,000	
	輸出货量 (kg)	32,480	64,000	
	輸出先国	香港	香港・タイ・シンガポール・台湾	